

# 志いまだ老いず

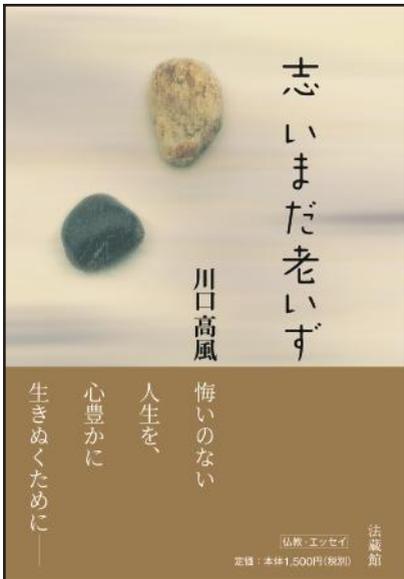
かわぐち こうふう

川口高風著

▼46判・並製カバー・220頁・定価 一、六五〇円

一、六五〇円

2023年2月刊行



悔いのない人生を、心豊かに生きぬくために——。大学教員・住職として生き、自身も老境に入った著者が、さまざまなお出遇いを通じて達した境地を綴った好エッセイ集。

## 【目次】

- 1 「宗教学」に始まり「宗教学」に終わる学生生活(講演)  
はじめに／教育者として／研究のあゆみ／確信できた最新の研究／おわりに
- 2 名古屋の寺院と名僧(講演)  
はじめに／名古屋の特色と区別・宗派別寺院数／名古屋の寺院の歴史的配置と地理的配置および修験道／真宗と曹洞宗が多い名古屋寺院／名古屋に寺院が多い理由／戦後の名古屋の仏教信仰／寺院と墓地の分離／名古屋で祀られている仏舎利と涅槃銅像／日泰寺と徳源寺／名古屋で活躍した名僧のエピソード／おわりに
- 3 宗春公が来た！ 興正寺の一日  
—宝暦十三年(一七六三)九月二日—(講演)  
はじめに／徳川宗春と興正寺／諦忍と宗春／謹慎後の宗春と興正寺参詣／九月二日の参詣／昼食と昼食後の参詣／翌九月三日と御備物／参詣前の下準備／おわりに
- 4 節目の年に  
六十歳の初心を忘るべからず／二人の父のお盆を迎えて／母の死に想う／人生には定年がない／健康寿命／袈裟がけ／寺史の刊行／修行は生涯／『熱田白鳥山法持寺史』の刊行／志いまだ老いず／六回目の干支を迎えて／『熱田白鳥山法持寺史第二』の刊行
- 5 おりおりの法話  
老後の初心を忘るべからず／志氣に老少なし／独坐大雄峰／鶴は千年、亀は万年、我は天年／西村恵信著『七十を過ぎてわかったこと』に学ぶ／生かされている命に感謝／みんな同い年／『忙中多閑』の教え／ごきげんよう／宮崎突保禅師の教え／一休の手紙と生き方／織田信長のダジャレ／笑顔で長寿を楽しむために／池江璃花子選手へのメッセージとコロナ禍／禅語による心の涼しさ／梅のように生きる／黙食
- 6 やさしく説く曹洞宗  
曹洞宗の歴史／臨済宗・曹洞宗・黄檗宗の違い／永平寺と總持寺の違い／禅の心とカタチ／總持寺の至宝／展に寄せて／喜心・老心・大心／墨跡は生きた禅者／沢木興道老師の言葉
- 7 法縁にめぐまれて  
洋食のマナーを教わった—水野弥穂子先生—／碑に手向けられた花—北の湖親方—／仏教学者で仏教者でもあった—田中良昭先生—／古叢林にいる知識豊富な師匠—吉岡博道先輩—  
あとがき

### ◆著者略歴

川口高風(かわぐち こうふう)  
一九四八年、愛知県名古屋市に生まれる。一九七五年、駒澤大学大学院博士課程修了。博士(仏教学、駒澤大学)。二〇一八年三月まで愛知学院大学講師・助教授、教授を歴任し定年退職。現在、愛知学院大学名誉教授、白鳥山法持寺住職。  
主な著書に、『法服格正の研究』『白鳥鼎三和尚研究』(ともに第一書房)、『修訂 曹洞宗の袈裟の知識』(曹洞宗宗務庁)、『志は老いず』(大法輪閣)、『諦忍律師研究』『明治前期曹洞宗の研究』(ともに法蔵館)、『熱田白鳥山法持寺史』『熱田白鳥山法持寺史第二』(ともに法持寺)、『名古屋の仏教』資料編(あるむ)など多数。

注文書	様冊
(書店印)	法蔵館
ご担当	川口高風著
	定価 一、六五〇円
志いまだ老いず	住所
ISBN: 978-4-8318-5725-5 C0015	お電話
	お名前

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

エッセイ